

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

No.	施策	実施内容	取組状況	担当部署
1	「買わない」「使わない」の推進	スーパー等でレジ袋を「買わない」ためのマイバッグ、飲料容器を「使わない」ためのマイボトルの持参を積極的に呼びかけます。	くらしレシビ等にて周知・啓発を実施 上尾市Webサイト「マイバッグで環境とお財布にやさしいお買い物を！」	環境政策課
2	生ごみ処理容器の購入補助	家庭での生ごみの事故処理・減容化を促進するため、家庭用生ごみ処理容器の購入補助を行います。	【申請件数】（令和5年度実績） ・生ごみ減量化機器（電気式）：87件 ・生ごみ処理容器（コンポスト式）：31件 上尾市Webサイトでの情報提供のほか、広報5月号で周知を行った。	環境政策課
3	食品ロスの削減	埼玉県や市社会福祉協議会などと連携し、フードバンクやフードドライブの推進により、未利用食品の有効活用を図ります。	県下一斉フードドライブ 10月25日（水）～10月28日（土）開催 寄付者58人、合計353点、重量358.2kg	環境政策課
		家庭や飲食店に対し、使い切り・食べきり運動により食品ロス削減を推進するほか、生ごみの水切り方法や水切りグッズの紹介により生ごみの減量化を図ります。	広報あげお10月号「10月は食品ロス削減月間」 上尾市Webサイト「食品ロス軽減のためにフードバンクの活用を！」 上尾市Webサイト「もったいない！～まだ食べられる食品～」 環境パネル展示において、食品ロス啓発パネルを展示	環境政策課
4	家庭系ごみの有料化の検討	家庭系ごみの有料化に向け、市民と情報共有を図りながら、本市にふさわしい実施方法を検討します。	ごみ処理施設の視察で、家庭系ごみの有料化をしている八王子市及び日野市を訪問し、情報収集に努めた。	環境政策課
5	事業者への排出抑制・分別・資源化の呼びかけ	商工会議所等の商工団体と連携して、事業者に対してごみの分別徹底及び資源化の推進を図ります。	未実施	環境政策課
		消費者のごみの排出を抑制するため、事業者に対して、商品提供時の過剰包装や流通時の梱包材や衝撃材等の発生抑制、再生品の利用・販売等に積極的に取り組むよう協力を要請します。	未実施	環境政策課

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

6	搬入検査	西貝塚環境センターに搬入される事業系ごみについて、適正に分別が行われるよう引き続き全事業者に協力を要請するとともに、搬入検査により適正排出の指導を行います。	ごみ分別アプリ、上尾市Webサイト等で、事業系ごみの出し方について周知、啓発を行った。また、月1回程度抜き打ちの搬入物検査を行い、違反業者への指導を行った。	西貝塚環境センター
7	廃棄物減量等計画書	「上尾市廃棄物の処理及び再利用に関する条例」に規定する「事業用大規模建築物所有者」（延床面積が3,000㎡以上の建築物の所有者）に対し、継続的なごみ減量を行うよう協力を要請します。	事業用大規模建築物所有者（延床面積 3,000 ㎡以上の建築物の所有者）に対して、廃棄物減量化計画の提出、管理責任者の選任を要請。	環境政策課
8	事業系一般廃棄物搬入手数料の見直し	近隣自治体の手数料を把握し、経済性を考慮しながら、適正な料金設定であるか確認し、必要に応じて見直しを行います。	令和5年7月より家庭系ごみと合わせて手数料を一部改正した。	西貝塚環境センター
9	不要になった家具のリユース	西貝塚環境センターに持ち込まれた家具のうちまだ使えるものは、リサイクル展示室で展示し、無償提供します。	リサイクル展示室への展示を継続。また、在庫確保のため、委託業者（ごみ搬入受入、粗大ごみ収集）に使える家具等の選別を依頼した。	西貝塚環境センター
		民間事業者との協力により、不要になった家具のリユースを検討します。	民間業者の取組の情報収集を行った。	西貝塚環境センター
10	雑がみの分別推進	雑がみの資源化を推進するため、ごみ収集カレンダーやホームページによる周知、出前講座を行います。	出前講座の実施（①リサイクルについて②ごみの減らし方について③カーボンニュートラル） 啓発チラシ「雑がみを捨てないで！」をイベント等で配布	環境政策課
			ごみ収集カレンダー、ごみ分別アプリに「紙類の分別早見表」を掲載。また、環境センターに紙を搬入した事業者に対し、紙の分別についてのチラシを配布してリサイクルへの協力(古紙回収業者への直接搬入)を依頼した。	西貝塚環境センター
11	小型家電リサイクルの推進	市内の公共施設に回収ボックスを設置して、ノートパソコン・携帯電話等の小型家電を回収し、リユースを推進するとともに、使用されているレアメタル等の資源化について調査研究します。	市内9か所（市役所、各支所・出張所、西貝塚環境センター）に回収ボックスを設置し、リユースを行った。また、レアメタルの資源化については、埼玉県が実施する『家庭の使用済みリチウムイオン電池の再資源化に関する実証試験』に協力した。	西貝塚環境センター

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

12	地域リサイクル事業への支援	出前講座を通じて、市民に対して地域リサイクル事業への積極的な参加を呼びかけます。	小中学校の授業や放課後子供教室において、ごみ減量とリサイクルに係る出前講座を実施し、子供向けに講義を行った。	環境政策課
		近隣自治体の動向を踏まえ、地域リサイクル事業における報奨金額については、適宜見直し、金額改訂を検討します。	報奨金の見直しは実施しなかった。	環境政策課
13	ペットボトルキャップのリサイクル	西貝塚環境センター等に集められたペットボトルキャップのリサイクルを推進します。	ペットボトルキャップのリサイクルを行った。 【実績】5.31トン	西貝塚環境センター
14	収集・運搬体制の確保	市民団体との協働体制の構築などにより、ふれあい収集（高齢者等戸別訪問収集）、粗大ごみ戸別収集を充実させ、市民ニーズに対応したサービスの向上を図ります。	【実績】ふれあい収集 441 世帯、123,930kg、粗大ごみ収集 400～500 件/月 ふれあい収集は、年々利用者数が増加傾向にある。また、粗大ごみ収集は予約状況改善のため、令和5年7月から一部委託化した。	西貝塚環境センター
15	低公害車の導入促進	収集車の排気ガスに含まれる有害物質の低減を図るため、低公害車による収集を促進します。	CNG（天然ガス）車1台を引き続き使用した。	西貝塚環境センター
16	動物遺体収集	道路等に遺棄された飼い主等が不明な犬・猫等の小動物の死骸の収集を適切に実施します。	委託により実施。 【実績】274 頭（犬、猫等）	西貝塚環境センター
		犬・猫の死骸については、飼い主に返還等ができるように、マイクロチップの確認を行います。	委託業者にマイクロチップの確認を依頼し、犬、猫については全頭マイクロチップの確認を行った。	西貝塚環境センター
17	広域化を見据えた効率的な収集・運搬体制の検討	伊奈町とのごみ処理の広域化にあたり、効率的な分別・収集体制を検討します。	プラスチックの資源化に向けて、埼玉県が実施する実証事業に参加した。また、収集体制の検討にあたり、ごみの収集運搬を行う事業者と協議した。	環境政策課
18	新たな技術を取り入れた収集・運搬体制整備に向けた調査・研究	ごみ収集の効率化、市民サービスの向上を図るため、地図情報システム（GPS）を活用したごみ収集車の運行管理システムなど、収集・運搬における新しい技術の導入可能性について調査・研究します。	民間業者が行っているシステム、サービス等の情報収集を行った。	西貝塚環境センター
19	適正処理	充電式小型家電の回収日を設け、リチウムイオン電池の発火による火災を防止します。	小型家電回収ボックスによる拠点回収の他、ごみ集積所（金属・陶器の日に別の透明な袋に入れる）で充電式小型家電を回収する。また、リチウムイオン電池及び充電式小型家電の適正処理について、ごみ分別ア	西貝塚環境センター

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

			ブリ等で啓発している。	
		特別管理一般廃棄物は、廃棄物処理法に基づき適正に収集・処分を行います。	専門業者に処理を依頼するよう周知している。。	西貝塚環境センター
		在宅医療に伴い排出される注射針等や個別アスベストなどの廃棄物の適正処理に関する情報提供を推進します。	在宅医療に伴い排出される注射針等は、医療機関へ返却するよう促した。また、ごみ分別アプリ等で啓発している。	西貝塚環境センター
		放射性物質汚染対処特別措置法に基づき、焼却残さの放射性物質の濃度測定を継続し、数値を把握します。	定期的に焼却残さの放射性物質濃度測定を実施し、その結果を上尾市Webサイトで公表した。	西貝塚環境センター
20	適正運転	大気汚染物質の発生を抑制するため、排出ガスの常時監視及び第三者期間による定期的な測定を実施し、測定結果を公開していきます。	焼却炉の稼働時は排ガスの 24 時間常時監視を実施した。また、定期的に第三者機関による測定を実施し、その結果を上尾市Webサイトで公表した。	西貝塚環境センター
		ごみ減量化により焼却量の削減を図るとともに、適正な稼働体制、稼働日数を維持します。	ごみの減量に応じた適正な運転管理を実施した。	西貝塚環境センター
		西貝塚環境センターの焼却施設の安定・適正運転を続けます。	施設の老朽化が進んでいるが、適切な補修工事や修繕を施工し、安定・適正な運転を続けた。	西貝塚環境センター
21	既存施設の延命化	西貝塚環境センターへの基幹的設備改良工事を実施し、安定処理のための大規模修繕及び温室効果ガス排出量削減を図り、また、長期的に安定した運転管理ができる体制を確保します。	DBO事業として公募型プロポーザル方式により基幹的設備改良工事及び管理運営業務の契約を締結し、それぞれの事業について詳細な協議を進めた。	西貝塚環境センター
22	広域による新しい施設の整備	令和 15 年度の「(仮) 上尾・伊奈広域ごみ処理施設」の稼働開始及び伊奈町との広域化に向け、各種計画策定及び調査を進めます。	令和 5 年 4 月に上尾伊奈資源循環組合を設立し、以後、同組合主体で建設予定地の測量、地質等の調査及び施設整備の基本コンセプトをまとめた「上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本構想」を策定した。	環境政策課

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

22	広域による新しい施設の整備	施設整備にあたっては、脱炭素社会に向けた環境配慮のほか、防災拠点としての役割も加味した施設整備を検討します。	上尾伊奈資源循環組合策定の「上尾伊奈ごみ広域処理施設整備基本構想」において、環境配慮、防災機能による地域貢献をコンセプトとしたほか、ごみ処理施設の視察を行い、施設の防災機能について情報収集を行った。	環境政策課
23	最終処分場の確保	安全な最終処分をお行うため、引き続き最終処分場を確保していきます。	複数の最終処分場（再資源化施設を含む）に分散することにより、安定した搬出先を確保した。	西貝塚環境センター
24	最終処分量の抑制	最終処分場の搬入ルールを守るため、焼却残さに乾電池等の異物が混入しないように分別を徹底します。	ごみ収集カレンダーに「家庭ごみの出し方」、上尾市Webサイトに乾電池の処分方法を掲載し、乾電池が他のごみに混在しないよう啓発した。	西貝塚環境センター
		焼却灰のセメント原料化等を進め、最終処分量を削減します。	焼却残さをセメント原料化や人工砂化の再資源化施設に搬出することにより、最終処分量を削減した。	西貝塚環境センター
25	災害廃棄物処理計画に基づく体制整備	平成31年4月に策定した「上尾市災害廃棄物処理計画」に基づき訓練等を実施し、災害廃棄物処理体制を整備します。	訓練等は未実施。令和6年度実施予定。	西貝塚環境センター
26	広域連携	施設の故障や更新などによる運転停止時のごみ処理、風水害や大地震などの大規模災害時に発生する大量のごみを処理するため、県や近隣市町村間の連携強化を図ります。	埼玉県清掃行政研究協議会、上尾清掃事業協同組合と災害廃棄物の処理に関する相互支援についての協定を結んでおり、継続中。	西貝塚環境センター
27	不法投棄ごみの発生抑制	不法投棄を防止するため、市職員及び環境美化推進委員によるパトロールを強化します。	環境美化推進員の参加は取りやめたが、荒川クリーン協議会（市職員含む）による荒川の周辺一部の不法投棄ごみの確認及び回収作業を11月に行った。	生活環境課
		不法投棄防止看板の配布など啓発を進めます。	不法投棄防止の啓発看板を希望者に配布した。	西貝塚環境センター
		不法投棄監視システムの導入や関係機関との連携を進めます。	未実施。	
28	ごみ散乱防止	ごみ散乱防止や空き缶のポイ捨ての防止について、啓発事業を推進します。	環境美化・環境保全啓発ポスターの募集を市内の小中学校に行い、応募された126作品を10月に上尾駅自由通路にて展示した。最優秀作品2点は各230枚印刷、自治会・学校に配布、掲示を依頼した。	生活環境課
29	ごみ集積所対策	ごみ出しのマナーが守れない箇所、資源物の分別が十分でない箇所については市が指導を行います。	分別されていないごみ、他市のごみ、事業系のごみで排出者が特定できたものは、その都度指導した。	西貝塚環境センター

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

		資源物持ち去り防止のため、集積所のパトロールを充実させます。	警察署と連携し、月1回のパトロールを実施。必要に応じて看板を配布した。	西貝塚環境センター
		要望等に応じてごみ散乱防止ネットの提供を行い、カラス等によるごみの散乱を防止します。	ゴルフ練習場や果樹園から使用済みネットを譲り受け、集積所用にカットしたものを希望者に配布した。	西貝塚環境センター
30	市民との協働による美化活動の推進	環境美化推進員連合会やその各地区支部と積極的に交流を図り、情報交換のほか、クリーン上尾などの環境美化運動を推進します。	環境美化推進員連合会役員会の実施により、各支部との連絡を随時行い、連携を図った。	生活環境課
		さらなるごみ減量・資源化の取り組みを進めるため、環境美化推進員組織の充実や支援を図ります。	各自治会等からの選出により環境美化推進員224人を委嘱し、各地区に環境美化推進員連合会支部として10支部を設置、各支部の代表により、上尾市環境美化推進員連合会を構成している。連合会の活動を支援するため補助金を支給している。	生活環境課
31	プラスチック分別及び再資源化の検討	令和4年3月策定の「上尾・伊奈広域ごみ処理基本計画」で示された新たな分別案に基づき、「(仮)上尾・伊奈広域ごみ処理施設」の整備に向けて、プラスチックごみの分別と資源化への検討を進めます。	令和5年11月から12月にかけて、西貝塚自治会、シティタワー上尾駅前自治会に協力いただき、住民にプラスチックの分別・排出していただくプラスチック資源化実証事業を実施した。	環境政策課
32	バイオマスエネルギーの調査	地域特性に応じたバイオマスエネルギーについて調査・研究します。	首都圏初の乾式メタン発酵によるバイオガス発電を行う町田市バイオエネルギーセンターの視察を行った。	環境政策課
33	環境学習の推進	市民に対して、ごみに関する情報提供とごみ減量・環境美化の意識向上を図るため、出前講座や環境問題学習会を行います。	原市公民館放課後子供教室において、ごみ減量とリサイクルに係る出前講座を実施し、子供向けに講義を行った。	環境政策課
		主に市内小中学校を対象に、西貝塚環境センターの施設見学を行い、ごみ処理についての環境学習を行います。	施設見学【一般】参加人数185名 【小中学校】参加人数1465名	西貝塚環境センター
34	各種イベントでの啓発	市のイベントにおいて、ごみ減量啓発活動を継続して行います。	環境推進大会やパネル展等のイベントにおいて啓発活動を行った。	環境政策課

令和5年度施策の取組状況

【資料 1-2】

		地域で開催される祭りなどにおいて使い捨て容器等のごみ排出を抑制するため、リユース容器を積極的に活用するよう主催者や参加者へ呼びかけます。	地域の祭りなどで出されたごみが搬入された際に、分別の指導を行った。	西貝塚環境センター
35	グリーン購入の推進	ごみ減量化や資源循環のため、「上尾市グリーン購入の推進に関する基本方針」に基づき市が率先してグリーン購入を実施するほか、家庭や事業者にグリーン購入を呼びかけます。	くらしレシピーで、リサイクルされた商品の購入や旬の野菜、地産地消を呼びかけた。 「上尾市グリーン購入の推進に関する基本方針」「上尾市グリーン購入ガイドライン」に基づき、上尾市役所庁内でのグリーン購入の推進に取り組んだ。	環境政策課
36	廃棄物エネルギーの活用	西貝塚環境センターを安定稼働させ、廃棄物発電および温熱利用を行い、効率的エネルギーの利活用を行います。	ごみ焼却施設を安定稼働させて発電を行い、場内での利用及び余剰電力の売電を行った。また、場内及び場外（上尾市健康プラザわくわくランド）への熱源の供給を行った。	西貝塚環境センター
37	既存施設の延命化（再掲）	21 に記載	21 に記載	西貝塚環境センター
38	広域による新しい施設の整備（再掲）	22 に記載	22 に記載	環境政策課